

咽頭結膜熱について

咽頭結膜熱の定点あたり報告数は 29 週 (0.95 人) をピークとして減少しているものの、今週も 0.65 人と引き続き高い値で推移しています。

今後も、報告数の多い状態がしばらく続くことが予想されますので、

プール前後のシャワーや洗眼を徹底する。

タオル等の共用を避ける。

うがいや手洗いを励行する。 などの予防に心がけて感染を防ぎましょう。

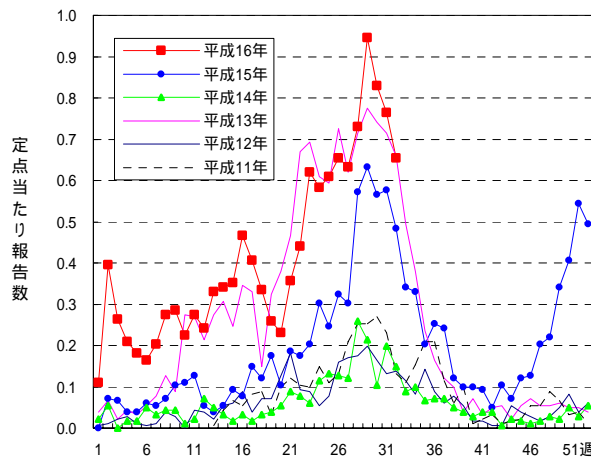
詳しい情報については愛知県衛生研究所のホームページ

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/intou.html>)

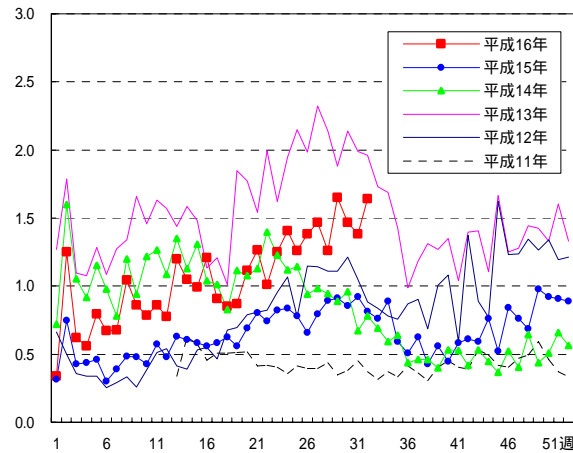
をご覧ください。

流行状況

咽頭結膜熱



流行性耳下腺炎



疾患名	前週	今週	備考
<u>ヘルパンギーナ</u>	1.8 ↓	0.9 ↓	夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍
<u>流行性耳下腺炎</u>	1.4 →	1.6 ↑	耳下腺の腫脹を主症状とするムンプスウイルス感染症
<u>咽頭結膜熱</u>	0.76 →	0.65 ↓	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症

定点あたり報告数



減少



横ばい



増加

(関連リンク)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

予防接種について (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou_week.html)

風疹について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/huusin.html>)

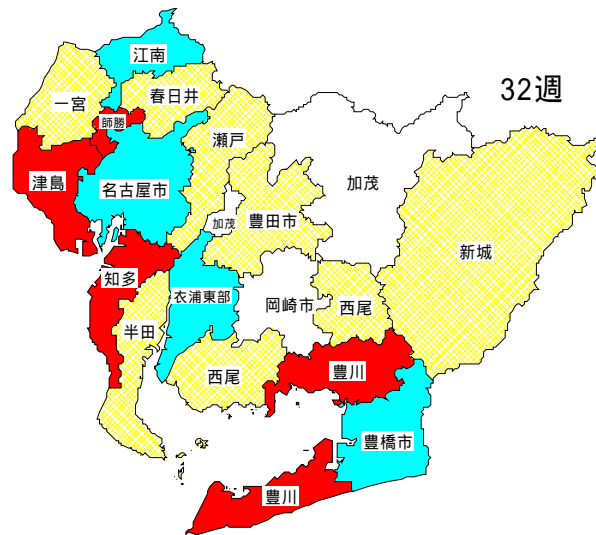
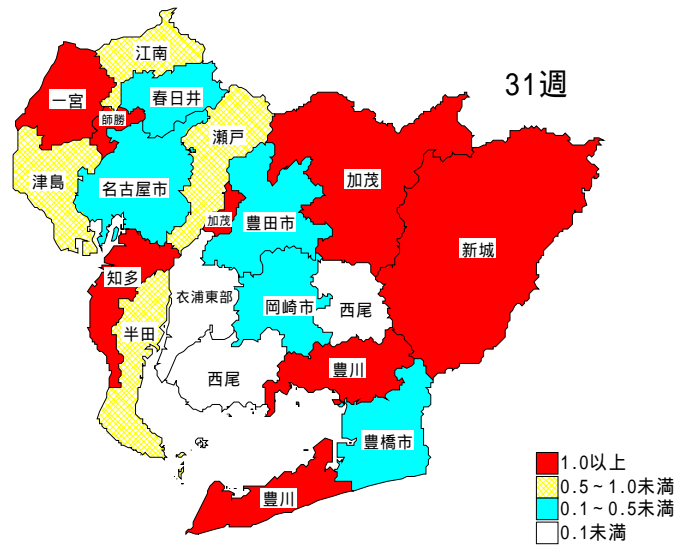
全国状況(感染症発生動向調査週報):厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - ホ - ム - ペ - ジ
(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) をご覧ください。

(作成)

愛知県感染症情報センター 連絡先:052-910-5619

E-mail:eiseiken@pref.aichi.lg.jp

咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	32週	定点 当たり	31週	定点 当たり		32週	定点 当たり	31週	定点 当たり
名古屋市	22	0.31	30	0.43	岡崎市	0	0.00	1	0.14
瀬戸	7	0.78	6	0.67	衣浦東部	5	0.45	0	0.00
津島	12	1.71	5	0.71	西尾	3	0.60	0	0.00
師勝	5	1.25	6	1.50	豊田市	6	0.75	1	0.13
一宮	6	0.50	14	1.17	加茂	0	0.00	4	1.33
春日井	5	0.56	2	0.22	豊橋市	1	0.13	2	0.25
江南	2	0.33	5	0.83	豊川	24	3.00	30	3.75
半田	5	0.83	5	0.83	新城	1	0.50	2	1.00
知多	15	2.14	26	3.71					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

平成 16 年 8 月報

7 月の一～五類感染症（全数把握対象）発生状況

	平成 16 年 7 月			平成 16 年度 累 計 (愛知県)	備考(7月)	
	県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県			
一類 感染症					発生報告無し	
二類 感染症	コ レ ラ	1	1	2		
	細 菌 性 赤 痢			11		
	パ ラ チ フ ス			1		
三類 感染症	腸管出血性大腸菌 感 染 症	25(9)	8(1)	33(10)	66(17)	O 26 1件 O157 32件
四類 感染症	A 型 肝 炎	1		1	5	
	つ つ が 虫 病		1	1	1	
	レ ジ オ ネ ラ 症	1		1	4	
五類 感染症	ア メ ー バ 赤 痢	3	5	8	24	
	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く。)				2	
	急 性 脳 炎				4	
	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病	1		1	1	孤発性 1件
	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症				1	
	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	2	4	6	25	A I D S 4件 無 症 候 性 2件
	ジ ア ル ジ ア 症		1	1	1	
	髄 膜 炎 菌 性 髄 膜 炎				1	
	梅 毒	2		2	11	早期顕症 2件
	ハ ン ソ コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症				1	

() 内は無症状病原体保有者

五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 16 年 7 月			平成 16 年 6 月		
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	197	48	245	147	42	147
2	性器ヘルペスウイルス感染症	36	14	50	36	6	36
3	尖形コンジローマ	38	7	45	41	11	41
4	淋菌感染症	117	39	156	70	38	70
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	8	77	68	4	72
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症					1	1
7	薬剤耐性緑膿菌感染症						

上記の報告数は感染症月報指定届出機関(性感染症:51、基幹:13医療機関)で把握したものです。

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。

【対象疾病】

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で定める86疾病

【対象期間】

平成16年第27週から第31週まで(平成16年6月28日～16年8月1日)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

6歳女 カンピロバクター腸炎
2歳男 サルモネラO2群
3歳女 サルモネラO4群
【一宮市 あさのこどもクリニック】
病原性大腸菌O1 3歳女
病原性大腸菌O55 4歳男
アデノウイルス感染症、マイコプラズマ
感染症は、相変わらず多い。
流行性耳下腺炎も多い。
エンテロウイルス感染症も結構ありました。
【尾西市 城後小児科】

マイコプラズマ肺炎 7歳女
【稲沢市 野村整形外科】
ヘルパンギーナ減少して来ました。
4歳女 サルモネラO8
手足口病1名ありました。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
ヘルパンギーナ減少していますが続発中
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
ヘルパンギーナ、ムンプス減って参りました。
【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

カンピロバクター腸炎 11歳男
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
夏休みに入ってヘルパンギーナは減少傾向です。
その他伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、ア
デノウイルス感染症散発
下痢症状の乳幼児やや目立ちます。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
ウイルスは腸炎が目立ちます。
【春日井市 春日井市民病院】
水痘、手足口病、ヘルパンギーナが少々
のみです。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
今週は突発性発疹が多くみられました。
【春日井市 かちがわ北病院】

ムンプスがつついています。
【春日井市 竹内医院】
ヘルパンギーナ減少傾向
【小牧市 小牧市民病院】
6歳の百日咳はDPT接種済みです。
サルモネラ、病原大腸菌、カンピロ腸炎
が増加しています。
【小牧市 志水こどもクリニック】
軽症の胃腸炎あり。
咽頭結膜熱は、減少しました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、流行性耳
下腺炎減少傾向
【東海市 小児科ハヤカワ医院】

西三河地区

3歳男 サルモネラ腸炎O9
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
3歳女 サルモネラO9群
1歳男 病原性大腸菌O15
3歳男 サルモネラO4群 2名
2歳女 サルモネラO8群
1歳女 カンピロ
【岡崎市 花田こどもクリニック】
8歳男 病原性大腸菌O1 VT(-)、カ
ンピロバクター
6歳女 サルモネラO8
【岡崎市 にいのみ小児科】
5歳男 マイコプラズマ肺炎
7歳男 腸炎ビブリオ
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

手足口病 時々あり
ムンプス流行中の園あり
【碧南市 永井小児クリニック】
病原性大腸菌O169 VT(-) 生後1
ヵ月男
病原性大腸菌O1 VT(-) 7歳男
カンピロバクター 7歳男
サルモネラO4 7歳男
ムンプスの流行が続いています。
【幸田町 とみた小児科】
ムンプスが流行しています。
【三好町 三好町民病院】

東三河地区

6歳女 マイコプラズマ肺炎
1歳女 E.coli O25
2歳女 ムンプス(兄弟から感染)
7ヵ月男 E.coli O153

【田原市 かわせ小児科】

一～三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	豊川	2	女	8/4	8/5	8/8	O157 VT1(+) VT2(+)	
2	知多	19	男		8/4	8/8	O157 VT1(-) VT2(+)	
3	知多	27	男	7/30	8/2	8/3	O157 VT1(+) VT2(-)	
4	衣浦東部	20	女		8/2	8/6	O157 VT1(-) VT2(+)	
*	春日井	16	女	8/6	8/6	8/9	O157 VT1(+) VT2(+)	33週 報告分

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢1例 (推定感染地域:国内、推定感染経路:性的接触)

デング熱1例(推定感染地域:インドネシア、31週報の再掲)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

暦の上では立秋ですが相変わらずの暑さです（こうした年は杉の開花が著明とか。来年春の花粉症が心配です）。夏休みとお盆が重なって通勤・通学電車が空き、楽をしています。いつも貴重な情報を有難うございます。7月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは感染症は全般に少ないが咽頭結膜熱、ヘルパンギ-ナ、ムンプスが比較的多く、ムンプス髄膜炎を含む無菌性髄膜炎の増加が目立ち、マイコプラズマ肺炎が一定数入院、城北病院渡辺先生からは外来患者少なくアデノ陽性者は殆どなし、嘔吐が主症状の急性胃腸炎があり、殆どが一時的な高熱（39 - 40）を伴う事が多く、たまに便でアデノ陽性、ヘルパンギ-ナ散見、第二日赤岩佐先生からはヘルパンギ-ナ、アデノウイルス感染症散発、EBウイルス感染症1例と溶血性尿毒症症候群（病原体特定されず）1例入院、小学生以上の無菌性髄膜炎目立つ、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎がぼつぼつ、手足口病と水痘が各1例、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎6名と目立ち（病原性大腸菌O1、O114、O125、O126等）、咽頭結膜熱3名、A群溶連菌咽頭炎2名、ムンプス1名、アデノウイルス性扁桃炎・咽頭炎で4名入院、アデノ陰性だが扁桃炎の高熱で要入院6名、マイコを含む肺炎3名入院、中京病院柴田先生からは特に目立つものはないがムンプスが少々、労災病院山田先生からは目立つものとして水痘、ムンプス、膿痂疹、アデノウイルス感染症（入院例あり）、急性胃腸炎（ウイルス性、大腸菌O1、O18、カンピロ、サルモネラ）、ウイルス性下痢嘔吐症の入院、高熱が一時ありすぐに解熱するウイルス性疾患、無菌性髄膜炎（頭痛が激しいのに髄膜刺激症状軽度）、マイコプラズマ肺炎、新生児の百日咳あり、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染症は少ないが咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、ムンプスがそれぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からは溶連菌感染症はめっきり減り、ウイルス性髄膜炎の入院が目立つ、常滑市民病院上田先生からは外来ではヘルパンギ-ナ、手足口病、感染性腸炎、咽頭結膜熱、突発性発疹などが目立ち、入院では感染性腸炎、咽頭結膜熱、ウイルス性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎が目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはムンプスと水痘が流行、髄膜炎の入院と胃腸炎の入院散在、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎とヘルパンギ-ナがたまにあり、他に急に発熱（1～3日）し嘔吐するものが少し目立つ、豊橋市からは感染症は少なく特に目立つものはないが、ウイルス性気管支炎、細菌性腸炎など少数例あり（市内長屋先生、宮澤先生）とのお手紙でした。有難うございました。

2004 年 7 月 16 日 (79 巻 29 号)

鳥インフルエンザ。最近の報告に基づいた WHO の勧告：最近の中国農業省とその共同研究者の報告によると、中国南部では家禽（アヒル）に広範囲に感染が広がっており、分離株は動物モデル（マウス）に強い病原性を示した。同地区の家禽や野鳥に広く分布して常態化の傾向が認められる。これら二つの事実から次の勧告が出された。以前考えられていた以上に分布が広く根絶は困難。分離ウイルスとウイルス材料は WHO に送付すること。家禽取扱者は鳥の取扱い注意事項を厳密に守ること。鳥との接触者にワクチン接種。ワクチン開発。サ - ベイランス強化。

ワクチン安全性勧告委員会。6 月 10 - 11 日、WHO 本部における勧告委員会報告：アジュバントの安全性を重視すること。現在使用中のものと、今後開発されるものについて研究調査を進めること。デング熱ワクチン開発。現在 8 種類のワクチン開発。免疫が発症に関連すると思われるデング熱出血熱との関連研究が急務である。DPT 三種混合ワクチンが小児の寿命を短縮するという報告について：2000 年にギニア・ビサウから報告あり、委員会は他の諸国からの報告もあわせて検討。今後の情報の収集と解析継続。

最近のインフルエンザ：アルゼンチンでは減少、チリ・サンチャゴでは A (H3N2) と B 型。香港で A (H3N2) 型。

7 月 9 - 15 日届出。コレラ：ブルンジ、タンザニア、シンガポール（輸入例）。

2004 年 7 月 23 日 (79 巻 30 号)

細菌性赤痢。南ス - ダン・ダルフル地区：国内難民 4 万人。流行は 4 月中旬から開始。6 月 30 日時点で血性下痢患者 1,340 名（死亡 11）。13 検体検査、3 検体から志賀菌 1 型陽性。WHO はユニセフ、国際赤十字、国境なき医師団などの協力を得て細菌検査やコレラ対策を含む流行性下痢対策要員の養成を進めている。

ポリオ根絶。03 年 1 月 - 04 年 5 月、アフガニスタンとパキスタンの状況：世界規模の作戦進捗でポリオ常在国は減少したがこれら両国は地理的条件、国境を境とする人々の往来などから、いまだに同一遺伝子型のポリオ野生株流行地となっている。本報は最近の状況と野生株の伝播根絶への努力のまとめである。

1 最近の発生状況（表と地図あり）：野生株確認例数は 03 年の年間 / 04 年 1 - 5 月でアフガニスタン 8 / 3 例、パキスタン 103 / 16 例、分離野生株は 1 型と 3 型、急性弛緩性麻痺患者例数はアフガニスタン 599 / 280 例、パキスタン 2,270 / 944 例、ポリオ野生株陽生患者の地理的分布は 03 年前半はパキスタン南部とパキスタン・アフガニスタン国境地帯、03 年後半は両国の国境地帯、04 年は国境地帯とパキスタン南部となっている。

2 今後の基本方針としてはポリオワクチン普及。S I A s（定期接種と平行して地域単位で一斉接種）を進める。特に目標とすべきはトライバル・エリアとよばれる族長が支配する、国家権力の及ばない治外法権的な地区のワクチン普及である。

インフルエンザ：A (H3N2) 型流行中の香港以外は世界的に下火である。

6 月 11 - 24 日届出。コレラ：コンゴ、リベリア、マリ、ロシア（輸入例）

愛知県感染症情報

2004年第32週(平成16年8月2日～8月8日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県																										
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	6	0	119	84	363	77	89	42	174	4	5	168	1	299	1	33	0	0	7	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	6	0	97	53	244	64	72	39	135	3	4	143	1	224	1	30	0	0	7	0	0
名古屋	70	70	11	14	1			22	31	119	13	17	3	39	1	1	25		75		3					
尾張東部	9	9	2	3	1			7	9	14	6	3	3	8		2	5		9		1			1		
海部津島	7	7	2	2	1			12	5	17	3			5			6		14		4					
尾張中部	4	4	1	1				5		11	2	2		2			1		6		3					
尾張西部	16	12	3	4	1	5		6	4	27	8	6	5	12			7		14							
尾張北部	9	9	2	3	1			5	7	15	8	8	7	13	1		24		15							
	6	6	1	2				2	7	21	7	3	3	15			15		11		1					
知多半島	6	6	1	2	1	1		5	3	13	11	2	8	3			2		17	1						
	7	7	2	2				15	4	13	1	2		10			8		20							
西三河南部	11	7	2	2	1				2	10	5	13	1	13			13		12							
	11	11	2	4	1			5	6	14	3	18		13			17		20		2					
	5	5	1	2	1			3	2	5	2	4	3	8			5		22							
西三河北部	8	8	2	3	1			6	3	44	4	7	5	8	2	2	12	1	35		16			4		
	3	3		1						3		1		1			1		6							
東三河南部	12	8	2	4	1			1	1	20	3	1		10			15		12		1			2		
	9	8	1	2	1			24		17	1	1	4	13			12		10		2					
東三河北部	2	2			1			1				1		1					1							

愛知県感染症情報

2004年第1週～第32週(平成15年12月29日～平成16年8月8日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	177	29,465	1,817	4,892	18,737	7,530	862	1,798	3,088	77	52	5,074	50	5,045	14	839	12	13	172	0	0
～6ヶ月	65	277	6	14	237	202	20	7	240	23		34		1		10					
～12ヶ月	53	616	50	22	1,152	486	54	34	1,798	11	5	336	9	35		12					
0歳																	5	2	1		
1歳	32	2,092	255	119	2,721	1,410	175	88	961	3	8	1,374	14	248		47			13		
2歳	8	1,947	283	227	1,978	1,240	136	120	69		5	1,029	5	417		29			8		
3歳	7	2,114	343	535	1,929	1,432	126	184	8	2	2	961	2	772	1	43			23		
4歳	4	2,528	296	952	1,780	1,298	129	266	4	1	5	675	6	1,045	1	43			20		
5歳	6	1,739	229	974	1,468	709	84	353		2	1	336	2	987		44					
6歳	2	1,342	100	668	1,002	329	47	254	1	4		151	2	492		21					
7歳		1,110	79	444	832	155	30	173	2	1	2	77	2	334		13					
8歳		966	45	261	619	84	14	125	1	1		31	1	235		9					
9歳		1,056	38	176	556	43	13	80	1	1	1	25		158		4					
5歳～9歳																				51	
10歳～14歳		4,275	48	270	1,242	74	16	79	2	1	2	29	3	198		21		2	34		
15歳～19歳		1,952	3	25	405	11	2	2			2	3	2	22		8			2		
20歳～			42	205	2,816	57	16	33	1	27	19	13	2	101			7				
20歳～29歳		2,465													2	109		4	2		
30歳～39歳		2,408													4	201		4	6		
40歳～49歳		1,051													2	54			4		
50歳～59歳		626													3	58		1	1		
60歳～69歳		455														67			4		
70歳～															1	46					
70歳～79歳		265																	1		
80歳以上		181																	2		

愛知県感染症情報

2004年第1週～第32週(平成15年12月29日～平成16年8月8日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	201	37,701	2,433	7,060	27,430	9,285	1,082	2,327	3,909	87	109	6,578	50	6,167	19	995	12	13	174	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	177	29,465	1,817	4,892	18,737	7,530	862	1,798	3,088	77	52	5,074	50	5,045	14	839	12	13	172	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	24	8,236	616	2,168	8,693	1,755	220	529	821	10	57	1,504		1,122	5	156			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	28	1,855	128	621	1,088	468	34	186	193	9	5	445	7	242	2	19			22		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	86	179	1,940	516	14	63	108	5		186		209		37		5	42		
尾張中部	4	4	1	1			1,006	15	76	796	175	8	91	48			162		82		20					
尾張西部	16	12	3	4	1	9	2,133	190	464	2,040	621	286	80	302	3	2	265	3	325		22	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	18	2,832	244	601	1,258	783	35	216	281	5	5	379	3	604		27	3	6	1		
	6	6	1	2			1,109	87	553	1,664	644	20	95	246	3	3	309	2	243		44					
知多半島	6	6	1	2	1	6	1,060	94	273	638	323	16	97	150	2	1	149	2	333	1	2			4		
	7	7	2	2		27	1,701	279	202	1,673	646	60	230	238		1	284		533	2	11					
西三河南部	11	7	2	2	1	5	1,945	47	425	452	739	49	124	358	6	5	433	4	398	1	47					
	11	11	2	4	1	1	3,208	142	413	1,042	631	196	124	303	4	4	411	5	883		72			7		
	5	5	1	2	1	2	864	31	166	655	248	20	116	134			180	6	337		37					
西三河北部	8	8	2	3	1	57	2,967	123	267	2,134	600	54	143	220	36	25	497	7	509		395		1	33		
	3	3		1		2	414	38	72	386	125	20	44	43			59		53							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,205	77	377	1,896	448	26	57	262	4		652	10	143	2	65	7		34		
	9	8	1	2	1	19	1,967	229	199	1,053	525	20	128	184		1	654	1	123	6	41	1	1	28		
東三河北部	2	2			1		163	7	4	22	38	4	4	18			9		28							